

# 2

## 社会の変化とビジネスの発展

Foundation of Business



- 1 サービス経済化ってなんだろう？
- 2 情報化やグローバル化とビジネスのかかわりってなんだろう？
- 3 ビジネスチャンスってどのようなことだろう？

こんにちはでは、さまざまなビジネスが存在し、基本的な考え方によって経済の内容やしぐみを理解できることを学びました。ここからは、社会の変化とビジネスの発展についてみてみましょう。

### 1 サービス経済化とビジネス

5 わが国の経済は時代によって中核となる産業が変化しています。第二次世界大戦前までは、わが国は農業や漁業といった**第一次産業**が中核でした。戦後の**高度経済成長期**<sup>②</sup>に、製造業を中心とした**第二次産業**<sup>③</sup>が発展をとげ、現在はサービス業を中心とした**第三次産業**が中核になっています。

10 現在のように、サービス業の市場規模や就業者数の割合がほかの産業に比べて大きい状態を**サービス経済化**といいます。所得が増加し、物質的に豊かになると、消費者は心の充足<sup>じゅうじく</sup>を求めるようになります。現在、このようなニーズがサービス業を活性化させており、今後もこの傾向は続くことが予想されます。

① 農業、林業、漁業を第一次産業といいます。

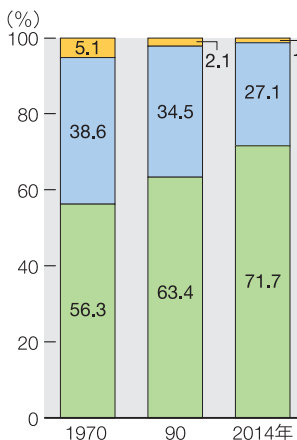
② 急激に経済の規模が拡大した1955年から1973年のことです。

③ 鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業を第二次産業といいます。

■ サービス経済化の進展

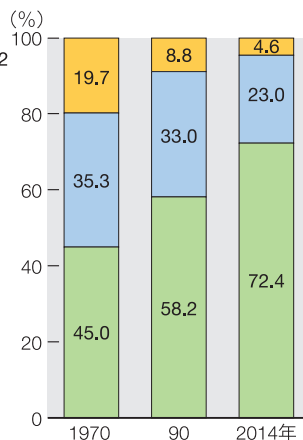
国内総生産

■ 第一次産業  
■ 第二次産業  
■ 第三次産業



就業者数

■ 第一次産業  
■ 第二次産業  
■ 第三次産業



\*内閣府「国民経済計算」から作成。

## 2 情報化とビジネス

こんにち、ビジネスの世界は情報化が進んでいます。たとえば、コンピュータやネットワークの利用によって、顧客や販売数量などに関する情報を活用し、仕事の合理化・迅速化を進めています。社会全体でも、ICT（情報通信技術）の発展や、ユビキタス社会<sup>CASE ①</sup>に向けた取り組みがみられるなど、情報化はこんにちのわが国の経済発展を大きく支えています。

しかし、情報化の進展とともに、インターネットを通じた個人情報の流出など、プライバシーにかかわる情報漏洩が起るようになりました。このような事態を避けるため、情報セキュリティ<sup>②</sup>を万全にすることが求められています。また、ICTを使いこなせる人とそうでない人との間にみられる情報格差の問題を解決する必要もあります。

情報を利用する企業や消費者は、情報モラル<sup>③</sup>をもって利用するとともに、情報をうまく活用できる情報リテラシー<sup>④</sup>を身につける必要があります。

① いたるところにコンピュータが存在し、人間の生活に役立たせようとする社会です。

② 情報の安全性を維持することをいいます。

③ 情報倫理ともいいます。情報を扱ううえで、守らなくてはならない基準です。

④ 情報を上手に活用するための知識や技術のことです。

### CASE 会計ソフトウェアの利用

現在では多くの企業が、会計業務のために会計ソフトウェアを導入しています。会計ソフトウェアを利用することで、手作業で行っていた帳簿作成の手間や誤りなどを減らし、業務を迅速化できるようになりました。また、経営成績を算定する場合にも、手作業では何日もの時間が必要でした

が、会計ソフトウェアを利用すれば、リアルタイムで最新の情報を把握できます。

そのほかにも、会計事務所との会計データのやり取りをオンライン上で行うことができ、業務の合理化に役立つなどの利点があります。



## 3

## グローバル化とビジネス

こんにち、輸送技術と情報通信技術の発達や、世界中で通用する基準<sup>①</sup>の制定によって、国境をこえた商品の売買や人の移動が活発におこなわれています<sup>②</sup>。このように、人・商品・お金・情報が国境をこえて地球上のどこにおいても自由に行き来する状態をグローバル化<sup>globalization</sup>といっています。

近年、グローバル化は進んでいく傾向にあります。日本においては、海外からの客がよく訪れる街中では、日本語の案内だけでなく、外国語による案内表示がみられます。また、大学においては多くの学生が留学をしたり、留学生を受け入れたりもしています。

グローバル化が進むということは、地球上のいたるところでビジネスを行い、現地の企業と競争することになります。そのため、企業は、より一層競争力をつけて高い付加価値のある商品を開発しなければなりません。また、海外で企業活動をする際に、自国でうまくいったやり方が、そのまま通用するとは限りません。それぞれの国の文化や習慣に適切に対応するローカライゼーション<sup>localization</sup>という考え方をもとにビジネスを行う必要があります。

一方、グローバル化によって企業の生産拠点が海外に移転することで、国内における産業が衰退していく産業の空洞化という現象も起こっています。

① グローバル・スタンダードといい、国際会計基準やISOによる規格の例があります。

② これをボーダレス（境界がない）社会といいます。



多言語による案内表示の例

③ 現地化という意味があります。



## CASE

## ローカライゼーション

日本の百貨店の多くは、海外にも進出しています。そのなかでも、シンガポールに出店している百貨店T社は、地元のニーズをとらえた店舗構成で成功をおさめています。たとえば、一年中暑い気候であるため、衣料品はあまり扱わず、その代わりに婦人用バッグなどの品ぞろえを増やしています。また、フードコートでは、屋台をそそえ、地元の定番料理であるヨントーやチキンライスの店などが並ぶようにしています。

このような店舗構成を可能にしたのは、T社が400名のスタッフのうち、日本人を10名たらず

にし、現地で多くの従業員を採用し、積極的に経営に参画させたからです。これらの従業員が、現地の事情や状況に応じた店舗づくりを支えています。



T社シンガポール店



## 4

# 社会的課題とビジネスチャンス

ビジネスの発展は、わたしたちの生活を豊かにしてきましたが、  
その一方で、解決しなければならぬ問題をもたらしました。また、  
社会情勢の移り変わりによって、経済に影響を与える新たな課題もう  
まれました。企業は、こうした問題や課題を解決するための対応を新  
たなビジネスチャンスととらえ、さまざまな商品を開発しています。

このような動きは、社会的課題の解決だけでなく経済の活性化に  
もつながります。ここでは、環境・エネルギー問題、食料・食品に  
関する課題、人口構造の変化とそれぞれに対応した新しいビジネス  
についてみてみましょう。

### Word

#### \*1 循環型社会

環境問題に対応するため、  
限りある資源を無駄なく有  
効に利用する循環型社会が  
求められています。この循  
環型社会を実現するための  
具体的な取り組みとして、  
Reduce（無駄なゴミは出  
さないといった「発生抑  
制」）、Reuse（びんなど  
は「再利用」して販売する）、  
Recycle（再商品化が可  
能なものは「再資源化」す  
る）の3Rがあります。

### 1 環境・エネルギー問題とビジネスチャンス

近年、フロンガスによるオゾン層の破壊、酸性雨による森林・湖  
の損傷、生活排水や工場排水などによる河川や海の汚染といった環  
境汚染への対策が求められています。また、大量のゴミ排出問題に  
関連して、資源確保の必要性もうたえられています。

このような環境汚染は経済の発展によって引き起こされている場  
合があるため、環境保護と経済発展を同時に実現することが重要で  
す。  
\*1 環境汚染に対応するビジネスには、大気の大気浄化、廃棄物の処理、

#### 環境汚染に対応するビジネス

##### 大気の大気浄化

大気汚染や酸性雨の原因とされる硫黄や窒素  
酸化物を減らすため、工場の排煙や自動車の  
排気ガスからそれらの除去装置を開発するビ  
ジネス。



##### 廃棄物の処理

##### 資源のリサイクル

廃棄物を適切に処理するためのビジネス。処  
理の際に、資源として再生できるものを分別  
し、リサイクルを可能にしています。



##### 水の浄化

生活排水や工場排水などを浄化するビジネス。  
海水を淡水化し、渇水の影響を受けずに水道  
水を確保する技術も開発されています。



資源のリサイクル、水の浄化などがあります。

一方、わたしたちの豊かな生活を支えるエネルギーの使用においても、環境に対する問題があります。たとえば、石油をはじめとした化石燃料は、大量に消費されると、自然環境に大きな影響を与え

る二酸化炭素などの<sup>\*1</sup>温室効果ガスを大量に排出します。

そのほかにも、わが国のエネルギー消費量は世界の国のなかでも上位であるにもかかわらず、その供給のほとんどを海外からの輸入にたよっていることが問題視されています。そのため、安全で効率がよく、環境にも配慮した新しいエネルギーを開発するビジネスに期待がよせられています。<sup>\*2</sup>また、わたしたちがふだんの生活のなかで無駄づかいをしないように心がけるとともに、企業においても省エネルギー化をめざして努力することが、社会的責任として求められています。

## Word

### \*1 低炭素社会

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出をおさえた社会です。

## Word

### \*2 再生可能エネルギー

人間が利用する以上の速度で、自然界によって再生されるエネルギーをいいます。太陽光や風力などがあげられます。

① 生物資源や有機廃棄物を発酵・ガス化させたり、直接燃焼させたりしてエネルギーを取り出す技術です。

## ■エネルギー問題に対応するためのビジネス

\* 巻頭ページ③④を参照

### 新しいエネルギーの開発

太陽光発電、風力発電、地熱発電など、これまであまり活用されてこなかったエネルギーを、効率よく利用するためのビジネス。動植物の生物資源（バイオマス）を電気や熱などのエネルギーにかえる開発も行われています。

### メタンハイドレートの開発

天然ガスの主成分であるメタンが水分子に閉じ込められた物質であるメタンハイドレートを、日本近海の海底から採掘し、国産のエネルギーとしようとして研究・開発が進められています。

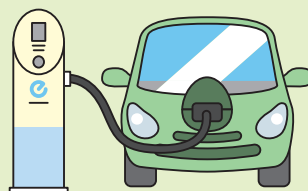


### 省エネルギー化

電気や燃料などのエネルギーを節約するためのビジネス。LEDや空調インバータ制御などの開発が進められています。

### エコカー関連のビジネス

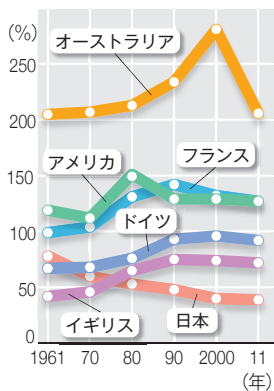
ガソリンの消費量を減らすハイブリッド自動車の開発や、リチウムイオン電池などの次世代電池の開発を含む電気自動車を開発するビジネス。また、燃料電池車の開発も進められています。



## 2 食料・食品に関する課題とビジネスチャンス

① 耕作放棄地とよばれています。

■ 各国の食料自給率の推移



② 株式会社、特例有限会社、NPO 法人などが含まれます。

サービス経済化が進んだわが国では、農業、漁業といった第一次産業に従事する人が減少し続けています。また、担い手の高齢化や減少などにより、使われていない農地が増加するという問題も抱えています。食料の多くを海外からの輸入にたよっているわが国では、このような問題に対して、農地の有効活用と生産性の向上をめざす取り組みが進められています。

その一つに、企業など一般法人による農業への参入があります。農地は農家個人が所有し利用することが原則でしたが、近年、一般法人が農地を借りることが認められるようになりました。その結果、一般法人による農業への新規参入が着実に増え、個人で行うよりも大規模で効率的な生産が行われるようになりました。

また、最近では食品に対する安全性がこれまで以上に注目されるようになってきました。食品を安い価格で提供することだけを目標にするのではなく、手間や費用がかかっても無農薬で生産したり、収穫してからすぐに出荷して新鮮さを保持したりするなど、高付加価値商品の提供をめざしています。

### CASE 工場で生産される野菜

野菜は、その多くが畑で生産されていますが、近年工場で生産されるケースも増えています。

埼玉県秩父市の Y 社では、空き工場の 1 階を栽培室にして、レタスなどの葉物野菜を中心に生産しています。栽培室内は、ほぼ無菌状態なので、病気や害虫が発生することがなく、農薬を使わない安全な野菜の生産ができます。また、必要なときに必要な栄養分を、工場内の機械による自動制御で与えることにより、苦味のない甘い野菜をつくることができます。野菜には汚れがなく、茎の一部を捨てるほかは、洗わずにそのまま食べることができます。そのため、サンドイッチを生産する食品メーカーやレストランなど、野菜を大量に使用する企業から重宝されています。

この生産方法では倉庫やビルの空きスペースを

有効に活用できることから、企業の新規参入が増えています。また、作業者の体への負担が少ないことから、高齢者や障がい者の雇用につながることも期待されています。なお、この例のように、環境条件を自動制御装置で最適状態に保ち、作物の種まき、収穫、出荷調整などの作業を一貫して計画的に行う生産システムを植物工場といいます。



Y 社の栽培室

収穫前のサラダ菜



### 3 人口構造の変化とビジネスチャンス

一年間に生まれる子どもの数は、1970年代前半は200万人前後でしたが、近年では100万人程度となっています。また、医療技術の進歩などにより、平均寿命はこの50年間で男女とも15歳以上長くなっています。

このように少子高齢化が進むことにより、労働力が減少して経済成長の伸びが低下したり、消費が伸び悩んだりするなどの問題が指摘されています。

しかし、ビジネスの世界では、これを新たなビジネスチャンスと受け止めており、特に医療・保健・介護の分野では、高齢者に対する消費の拡大が期待されています。製造分野では、ユニバーサルデザインの商品を開発するなど、高齢者への配慮をより重視

しています。少子化に対しては、子育てを支援するためのサービスを充実するほか、子どもの数が少なくなっている分、一人の子どもに多くのお金をかけられることから、より高額な子ども向けの衣料品や玩具といった商品を積極的に開発・販売するようになっていきます。

CASE

さまざまな環境の変化によって、新しいビジネスを起こすチャンスが生まれるんだね。



#### Word

##### \*1 ユニバーサルデザイン

年齢や障がいの有無などにかかわらず、できるだけ多くの人が利用可能であるデザインです。

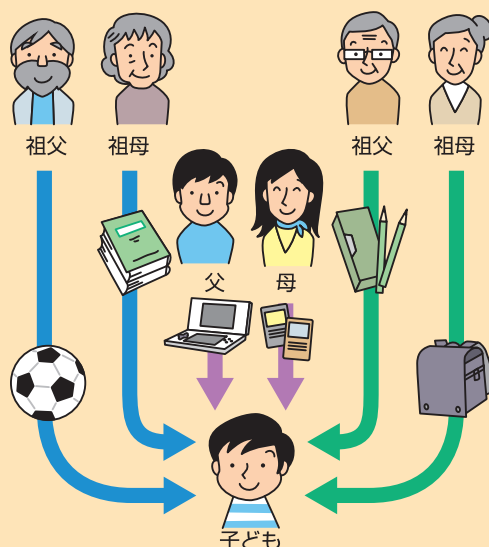


見やすく押しやすいトイレの操作ボタンは、ユニバーサルデザインの例の一つです。

#### CASE シックス・ポケット

シックス・ポケット (six pockets) とは、子ども一人に対して、両親と両祖父母をあわせた六人がお金を提供しているという状態をいい、「六つの経済的なポケット (財布)」があるという意味です。

子どもの数が減っている分、一人の子どもにかけられる金額は大きくなっています。そのことが、高額な商品やサービスを子どもや孫に買い与えたいという両親や祖父母の気持ちにつながるようになります。少子化をビジネスチャンスとして考えるためには、子ども自身を対象とした商品を開発するだけでなく、その両親や祖父母にも受け入れられる商品を考えることが重要になっています。





## コラム 人口減少とビジネスチャンス

2008 年以降、わが国の人口は減少し続けています。人口が減少するということは、商品消費する人（消費人口）の数が減るということであるため、市場の規模は段々と小さくなってしまします。

消費人口が減少すると、いままでに存在したビジネスを縮小する必要が出てきます。しかし、海外に目を向けるとまだまだビジネスチャンスが残されていることに気がつきます。今後市場が拡大することが見込まれる新興国を中心とした国々を、わが国のビジネスのターゲットにしようとする動きが活発化しています。

従来、海外へ輸出する商品は、自動車や家電製品などの「もの」が中心でしたが、近年では「サービス」を輸出する動きがあります。具体的な例として、「クールジャパン (COOL JAPAN)」という取り組みがあります。これは、アニメや音楽などのコンテンツやファッション、デザイン、観光サービスなどを中心とした日本の魅力を海外へ

アピールすることで、関連商品を海外でも販売したり、日本を訪れる観光客を増やそうとしたりする取り組みです。人口減少という「ピンチ」をいかに「チャンス」に変えることができるか。これからの日本を支えるみなさんに、ぜひとも考えて欲しいテーマです。



日本のマンガ・アニメ・ライトノベル・ゲームのデザインを特集した書籍

### 確認問題

### 社会の変化とビジネスの発展

1——次の文章を完成させましょう。

- (1) サービス業の割合がほかの産業に比べて高い状態を(①)といいます。
- (2) 人・商品・お金・情報が国境をこえて地球上のどこにおいても自由に行き来する状態を(②)といいます。
- (3) 環境汚染に対応するビジネスには、(③)、廃棄物の処理、資源のリサイクル、(④)などがあります。
- (4) 近年わが国では、寿命が長くなり子どもの数が減る(⑤)が進んでいます。

### 調べ学習

- 教科書 p.40~44 でみてきたような社会的課題のなかで、テーマを一つ取り上げ、そうした問題の現状について、図書室の本やインターネットなどで調べてみましょう。